

大いなる田園のマチ
50年の歴史…
見つめる先はさらなる未来

広
報

あつま

2010 **10**
No. 698

いのち満ちる 農(みのり)の里あつま 大いなる田園の町

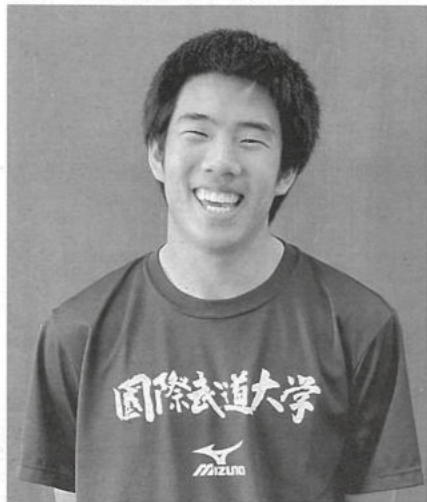
私が思う厚真町の宝物は、町の豊かな自然と町民の皆さんの真心です。

私は以前、苫小牧に住んでいましたが、家の事情で厚真に引っ越して来ました。その時に最初に思ったのは、風の音、鳥の鳴き声、穏やかな空気、のどかな田園風景が目に入り、すこく静かで心が癒される場所だと思いました。初めて「空気がおいしい」という意味もわかったような気がします。

この豊かな自然は、他の町にはないここだけの宝物だと思います。

藤田 典くん (本郷)

ふじた・つかさ 苫小牧市出身。厚真高校3年生。野球部に所属し1番センターで活躍。高校生活の思い出は、春の公式大会で勝利したこと。



『豊かな自然』が大好き

『SEA(海)』ライフ



村上 朋子さん (上厚真)
むらかみ・ともこ 江別市出身。海外暮らしを経て2年前に移住。現在は、着物リメイク工房とご主人の巧さんがサーフショップを営んでいる。

んだ宝探しを思い出す。めずらしい貝殻を拾ってきては加工して飾り物を作ったり、お店の窓際にディスプレイ。

浜厚真の、火力発電所から立ち上る煙に反射した夕焼けは、幻想的でさえある。

春になれば残雪とともに樽前山がそびえ立ち、海の景色は一変する。

四季折々の表情を見せてくれる厚真の海にすっかり魅了された私は、ここで暮らせる事に感謝せずにはられません。

また、私が部活動でゴミ拾いをしてしていると、町の人たちが「頑張ってるね」と声を掛けてくださったり、大会が終わった時には「惜しかったね」、「いい試合だったね」などと励ましてくださったり、町民の皆さんの真心と優しさが、とてもうれしかったです。

豊かな自然と、町民の皆さんの真心があつてこそ出来る、おいしい農産物も厚真町の宝物だと思います。

「町制50周年記念特集」

あつまの宝物

こしりまのしん

“あつま”にはどんなものがあるの？
このマチの中にはキラリと光る
「地域資源=宝物」がいっぱいあるはず…
皆さんでマチの宝物を考えてみませんか？

厚真町 Atsuma Town

私が厚真町で暮らすようになって7年になりますが、その間にたくさんの人たちとの出会いがありました。

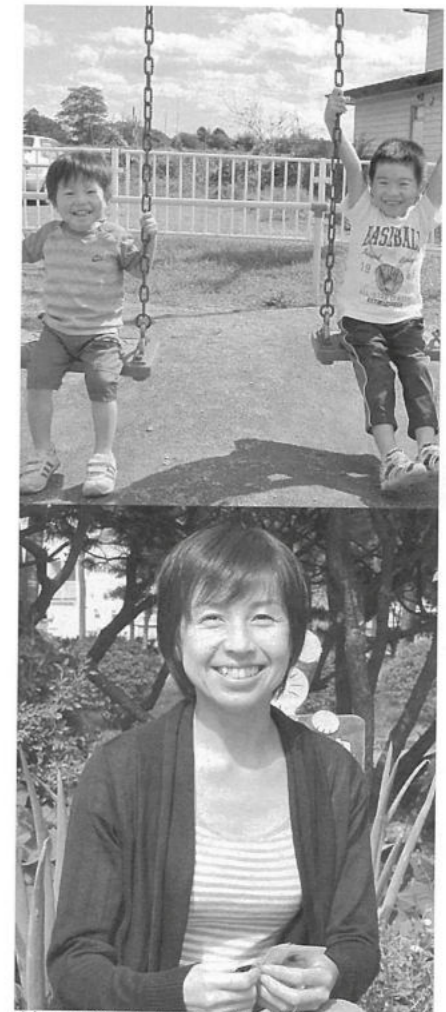
いっしょに汗を流すサークルの仲間、悩みや喜びを分かち合えるママ友、私たち家族を温かく見守ってくださる町内会、地域の方々、職場の同僚や諸先輩方、かわいい子どもたち……。数えあげるとキリがありませんが、どの人、どの場面にも必ず素敵な笑顔があり、そのみんなといつも繋がっている感じがするんです。だから、日々の暮らし

厚真の宝物といえば、やっぱり「米」ではないでしょうか？ 小さい子どもから大人まで、誰でも1日1回は必ずといっていいほど食べるはず。

例年、春に種まきをして秋に収穫、半年以上の時間をかけてお米は出来ず。

私たち家族も、農家の人たちが苦労して作っているお米を、毎日おいしく食べています。

どんな農作物でもそうだと思いますが、作っている人たちは暑い日も寒い日も、頑張って作業しているので、食べる方とし

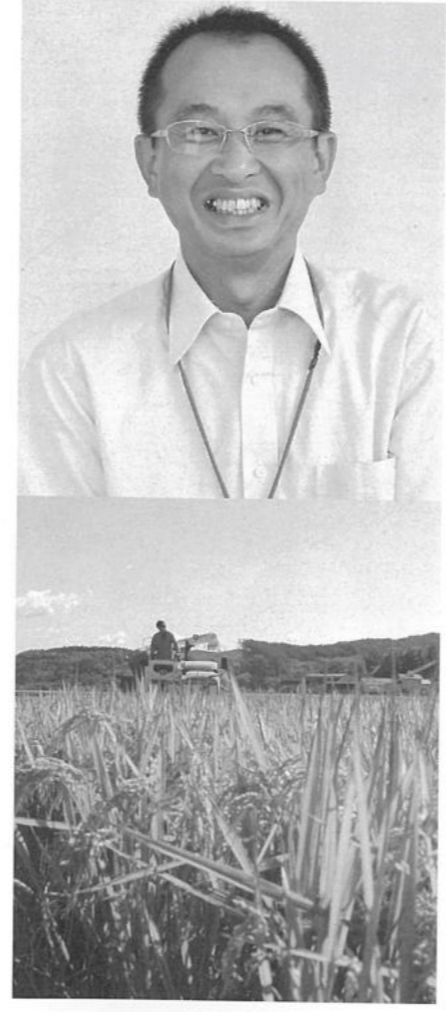


前川 美里さん（本郷）
まえかわ・みさと むかわ町出身。現在は、役場町民福祉課で臨時職員として勤務。04年に結婚し2児の男の子の母。趣味は野球観戦・バレー。

マチのみなさんの『笑顔』

あつまの宝物といえは やつぱり『お米』ですよ

橋場 直人さん（東和）
はしば・なおと 札幌市出身。現在は、厚真福祉社会総務課で勤務。05年に結婚し、その後長男が誕生。1月に2児の父となる。趣味はゴルフ。



しがとても幸せ。

私が厚真で暮らし、ここで子育てをしていく原動力は、マチのみなさんの心からの『笑顔』です。そんな笑顔をこれからも大切にしていきたいし、私自身も毎日『笑顔』を心がけていきたいと思っています。厚真は知らない人同士でも、気さくに挨拶し合ったりしますよね。それって、とっても素敵なこと。

私は、もともとつとマチのみなさんと交流していくためにも、いろんなイベントや行事に『笑顔』で参加したいですね。

でも「ありがとう」の気持ちを込め、感謝しながら味わいたいところですよ。

昨今、世の中が高齢化しているこの時代、歴史を未来に継承していく意味でも、若い人たちがこれからも、厚真でおいしいお米を作り続けていってもらえたら嬉しいですね。

農業は本当に大変な仕事だと思いますが、「農家の皆さん頑張ってください」。

大いなる田園のマチに住んでいることに幸せを感じながら、今年の新米を、もう今から楽しみにしています。

特集 タカラモノコレクション

保育園に通う息子と一緒に歩く通勤路に一本の木があります。

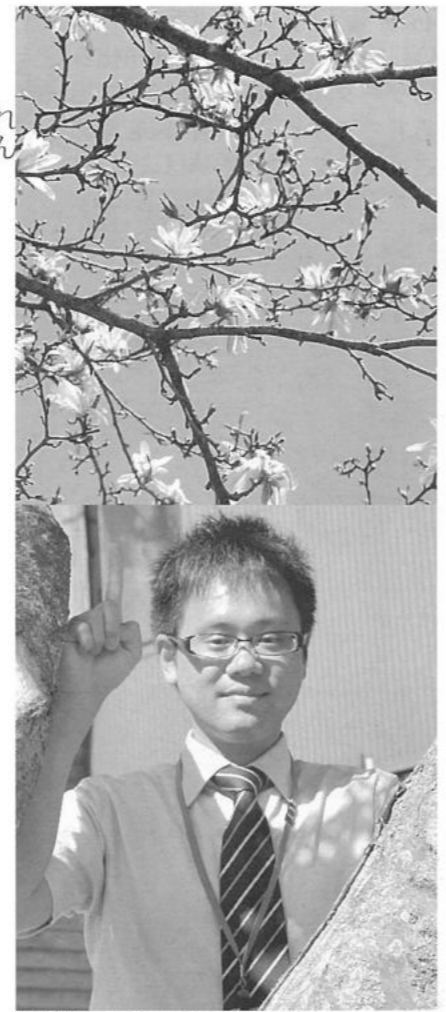
少し前の話ですが、5月の桜の時期のある朝、いつもの通勤路でその木に咲く花を息子と眺めて「きれいな桜の花だね」と話している、たまたま一緒に通勤していた同僚が「それ桜じゃないよ。『こぶし』だよ」と言いました。

なんとびつくり、毎朝見る桜と思いきや、こぶしの花だったのです。よく見ると確かに花びらが大きい。こぶしの木は「町の木」

この町に嫁いでから20年の月日が経ちました。来た頃は、結婚・子育てを通じて日々の生活を不便に感じる事が多々ありましたが、その半面、田舎ならではの温かみ。多くの親切な方が温かく迎えてくれ、海の幸、山の幸をたくさんいただきました。いつも色とりどりの旬の食材が我が家の食卓に並び、食生活は豊かだったと思います。

海の幸といえば魚介類。四季折々の季節を通じて、色々な野菜やきのこ類が印象的な山の幸。厚真には、自然の恵みを享受した食材が本当にいっぱい

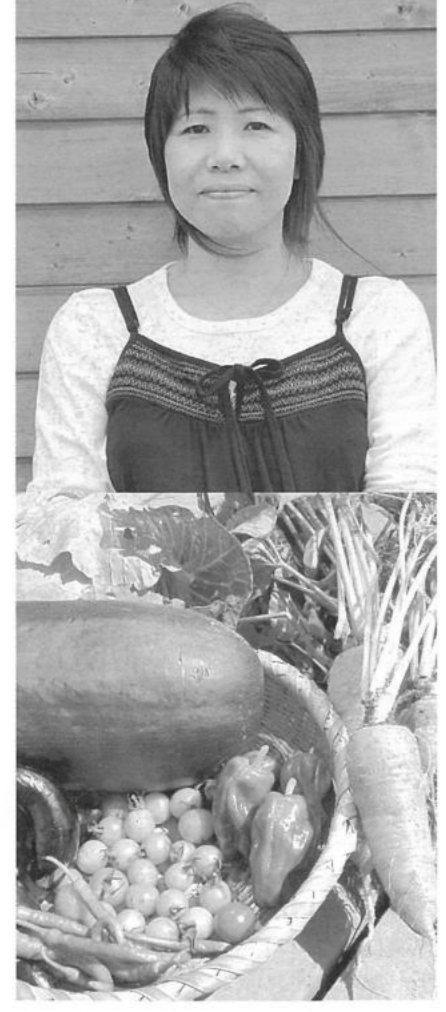
可憐な花を咲かせる『こぶし』の木 花は何色？



佐藤 大輔さん（表町）
さとう・だいすけ 札幌市出身。厚真に来て11年目を迎える。現在は、役場総務課財政グループで勤務。05年に結婚し2児の父。趣味は釣り。

『豊かな食材』は あつまの誇れる宝物です

木村 信江さん（京町）
きむら・のぶえ 追分町出身。現在、ご主人と米穀店を営む。3人の子の母。「ほしのゆめ」の米粉を使用したシフォンケーキは好評。趣味は温泉。



としてお馴染みですが、花は白色だけかと思っていただけに、ピンク色のこぶしの花があることに、とても驚きました。この木は、京町の木村米穀店さんに隣接する遊歩道に立っています。

町の木、町の宝とも言えるこの珍しいこぶしの木ですが、残念ながらその可憐な花は来年度の5月まで見ることができません。来年の春、また鮮やかなピンク色の花を咲かせることを楽しみにしていきましょう。ピンク色のこぶしは『ひめこぶし』『べにこぶし』と呼ばれるそうです。

すよね。例えば代名詞ともいえるハスカップやこくわ、お米など……。それら多くの食材を通じて、この町にはこだわりを持って生産・加工している人たちがたくさんいることを知りました。あらためて考えてみても、ここは食材の宝庫だと思うのです。残念ながら、ブランド化されてないものもあります。それでも、何十年も前から思いを込め作られ、守っている人たちがいます。この町で収穫される食材とそれを支えている人たちが厚真の誇れる宝です。この食文化が未来に続いてほしいです。

職業柄、これまでに転勤で管内5市町に移り住み、縁あって厚真町は2度目の勤務となりました。

このような私に「厚真の宝物は？」と聞かれたら、真っ先に「厚い真心」と答えます。最初は単なる語呂のいいキャッチフレーズだと思っていたんですが、住んでみると厚真は本当に人の心が温かいマチです。

自治会をはじめ、様々な会合で出会う人たちの明るさや穏やかさ、車ですれ違うわずかの間でも必ず笑顔であいさつをして

子供時代を厚真で過ごした母とともに訪れたのが、このマチとの出会いでした。

その日は真夏の日射しが眩しく、丘から眺めた緑の絨毯は今でも脳裏に焼きついています。その後、縁あってこの地の住人となり早18年…。

あらためてマチの宝物は？と聞かれると、「大っきな空と田んぼたちです」と答える。

仕事の合間に見上げる青い空やホッと眺める夕焼け。仕事に没頭しすぎて遅くなり、慌てて夕飯の材料を探りに出て見つけ



油谷 諭さん(軽舞)
あぶらや・さとる 苫小牧市出身。現在は、軽舞小学校で校長を務める。厚真に来て4年目を迎え、奥様とワンちゃんの3人暮らし。趣味は釣り。

『厚い真心』こそ厚真の宝物

『大っきな空と田んぼたち』

石橋 実穂子さん(宇隆)
いしばし・みほこ 室蘭市出身。合唱サークルや農家の奥様方で構成するあつまママクラブの代表を務めるなど行動的な主婦。趣味はミニバレー。



くれる人、知らない人でも気軽に声をかけてくれて自然に会話ができる。このような何気ない日常の生活の中でいつも感じていることです。

おそらく、このような感覚や空気がみえないものは、もしかすると私のように厚真に戻ってきた人間にしかわからないのかもしれない。

「厚い真心」は、厚真の豊かな自然の中で美味しいお米を食べて育ってきた人間だけが持つ最高の宝物です。

た一番星。

そして、その空の下には四季折々の表情を持つ田んぼが辺り一面広がっている。

「穂が実るように大きく育つて！」との思いを込められ、親に名付けられた名前は、まさにこの景色から考えられたと思うと、つくづく愛おしくもなる。

この厚真の田園風景が、50年先、100年先、そして未来永劫続いていくことを心から願っています。

編集後記

小学生の頃、社会科の授業で「マチの宝物を見つけてよ」と学習したことがあった。自分たちが直接企業に行き、インタビューをしたり、突撃レポートに入ったり、学習を通じて地域の人たちとの交流も図られ、マチの貴重な地域資源を再発見したことを思い出す。

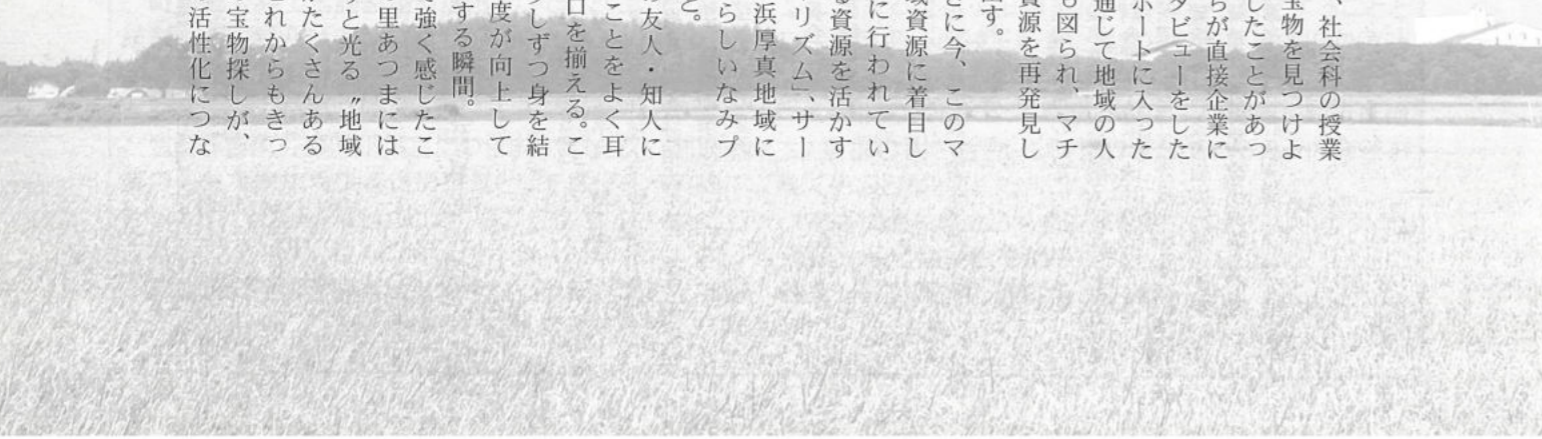
くしくもまさに今、このマチの中で、地域資源に着目した活動が活発に行われている。農村にある資源を活かす「グリーンツーリズム」、サーフィンの名所 浜厚真地域に注目した「あたらしいなみプロジェクト」など。

近頃、町外の友人・知人に会えば「厚真のことをよく耳にする」と皆が口を揃える。こうした活動が少しずつ身を結び、厚真の知名度が向上しているのかと実感する瞬間。

今回の取材で強く感じたことは、この農の里あつまにはまだまだキラリと光る「地域資源」宝物がたくさんあるということ。これからもきっと、一人一人の宝物探し、さらなるマチの活性化につながっていく。

さがそうよ

アツマのたからもの



9月9～10日

平成22年第3回定例会

会

議

平成22年第3回定例会が、9月9～10日、2日間の会期で開催されました。審議されたのは、名誉町民の推薦など議案7件、同意3件、承認1件、報告6件、認定7件、意見書案1件で、いずれも原案どおり可決されました。その主な内容についてお知らせします。

同意

町教育委員会委員に長門茂明さん(鹿沼)を任命

平成22年9月30日で任期満了となる厚真町教育委員会委員・阿蘇孝司さんの後任に、長門茂明さん(鹿沼・43歳)が任命されました。

池川義厚さん(表町)町自治功労賞を受賞

昭和54年より町議会議員として4期16年にわたり、町行政の振興、また、地域の交通安全の普及と町交通安全協会の発展に大きく貢献された池川義厚さんが、町表彰条例の規定により、町自治功労者として表彰されます。

松平功さん(高丘)町自治功労賞を受賞

昭和62年より町議会議員として5期20年にわたり、この間議会議長を務めるなど町行政の振興、また、町民の福祉の増進と社会福祉協議会の発展に貢献された松平功さんが、町自治功労者として表

議案

22年度一般会計予算 67億7,296万8千円に

22年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ、3億0,830万9千円が追加され、総額で67億7,296万8千円になりました。補正された主なものは次のとおりです。

- 【追加】
- ・テレビ難視聴対策事業 1億9,700万円
- ・総合福祉センター整備事業 3,416万8千円
- ・予防接種事業 172万8千円
- ・緊急雇用創出事業(森林環境整備雇用) 666万9千円
- ・大豆用色彩選別機・磁力選別機導入事業 2,730万円
- ・豊共第1地区道管ほ場整備事業 202万円
- ・本郷団地4号線道路整備事業 1,570万円
- ・育英資金貸付、奨学金給付事業 96万円

審議された内容

番号	件名	審議内容
同意1	厚真町教育委員会委員の任命	
同意2	自治功労賞表彰	
承認1	専決処分承認(平成22年度厚真町一般会計補正予算(第4号))	
議案1	名誉町民の推薦	平成22年度厚真町一般会計補正予算(第5号)
議案2	老人保健特別会計補正予算(第1号)	老人保健特別会計補正予算(第1号)
議案3	簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案4	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
議案5	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定
議案6	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
報告1	所管事務調査報告(各常任委員会)	
報告2	財政援助団体等に関する監査の結果報告	
報告3	定期監査の結果報告	
報告4	現金出納例月検査の結果報告	
報告5	平成21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率教育委員会の事務事業の点検・評価報告	
報告6	平成21年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	
報告7	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	
報告8	老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	
報告9	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	
報告10	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	
報告11	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
報告12	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
意見書案1	道路の整備に関する意見書	

報告

各常任委員会から調査事項など報告

■総務文教常任委員会

(渡部孝樹委員長)

開催日 7月14日

【現地調査】

①油水流出場所の対策について(宇隆・豊丘地区)

【事務調査】

- ①油水流出場所の対策について
- ②スポーツセンター及びスタードームの利用状況について
- ③フォーラム・ビレッジの実施計画等について

■産業建設常任委員会

(今村昭一委員長)

開催日 7月30日

【事務調査】

- ①口蹄疫の対策について
- ②建築設計委託料の積算方法について

健全化判断比率などを議会に報告

本町の平成21年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、監査委員の審査が終了したので、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、議会に報告されました。

厚真町の健全化判断比率は下記の表のとおり、早期健全化基準を超えている比率はありません。欄中の「-」は実質赤字額・連結実質赤字額がない(黒字である)ことを示しています。

	21年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	-	20.0%	40.0%
実質公債費比率	17.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	43.3%	350.0%	

公営企業についても、資金不足比率を算定します。厚真町の公営事業は下記の表のとおりで、各会計とも資金不足が生じていないため、「-」で表示しています。

	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	

◆町長行政報告◆「8月11日から12日にかけての大雨による公共施設及び農業施設等の被害について」

台風4号からの暖かく湿った空気が、北海道付近を南下する前線を活発化させた影響により、8月11日から12日にかけて、本町では降り始めからの雨量が146mmに達し、道路・河川・公園などの公共施設に路肩決壊などの災害が発生いたしました。

農業関係では、農作物と農業施設において浸水・冠水被害及び損壊等の災害が発生し、収穫の秋を前に被災されました生産者の皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げます。

この大雨による災害の状況についてですが、まず、公共施設については、道路災害が路肩決壊などで14箇所、被害額で7,200千円。河川災害が河岸決壊などで28箇所、被害額で43,570千円(5箇所の公共河川災害復旧費含む)。公園災害が5箇所、被害額1,250千円となっております。合計で47箇所、被害額にして52,020千円に上る状況であります。

これら土木災害の復旧対策のうち緊急を要するものとして11箇所分の修繕料及び委託料で1,810千円、公共土木施設災害復旧費の測量設計委託料5箇所分、金額にして2,490千円、合計で4,300千円分については専決処分をさせていただき、既に復旧作業にあっております。

町単独公共土木施設災害復旧として、31箇所分は修繕料、委託料及び工事請負費の総額で16,010千円を今回の補正予算で計上させていただき、速やかに災害復旧対策を講じてまいります。

残る5箇所分の河川災害につきましても現在、補助事業の公共土木施設災害復旧事業として採択され実施できるよう災害査定申請に向け、準備を進めているところであります。

また、胆振総合振興局室蘭建設管理部が管理する道路及び河川のうち一般道道富野軽舞線で3箇所、2級

河川日高幌内川で1箇所、合計4箇所が被災しましたが、同室蘭建設管理部においても公共土木施設災害復旧事業として実施できるよう災害査定申請に向け、準備をしているとのことであります。

次に、農作物及び農業施設の災害の状況ですが、浸水・冠水等の被害報告があった農作物面積は155haで、内訳は水稲で6ha、豆類を主とし畑作物で82ha、牧草で56ha、ブロッコリーを主とし露地野菜・施設園芸で11haであります。これら農作物の被害金額は約24,000千円と見込んでおります。

農業施設では、自力復旧箇所や北海道及び町管理の河川災害箇所を除き、被害報告があった施設は14件で、内訳は流出等の農地損壊が4件、用排水路・井堰の損壊が7件、農道の損壊が3件であります。被害金額は総額で約7,200千円と見込んでおります。

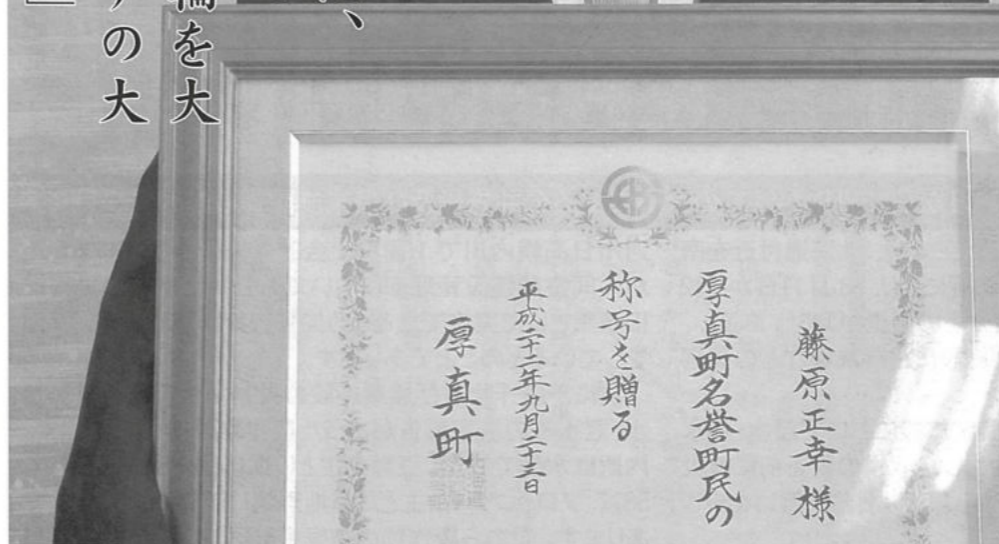
今回の農業施設災害の復旧にあたりましては、被災地域の農地・水・環境保全向上対策の資源保全協議会と調整を図り、比較的軽微でかつ急を要する復旧工事は資源保全協議会で対応していただくことといたしました。

それ以外の復旧工事は、町単独の支援を行う必要があると判断し、過去の災害対応と同様に「農業施設等被災に対する災害復旧事業特別要綱」を制定することとし、本定例会の補正予算に農業施設等災害復旧費補助金を計上したところであります。

この度の大雨による農業被害は、収穫期を間近に控え、豊稔の秋を期待しつつ農作業に携わる方々の意欲を削ぐものとなりました。

被害に遭われた方々の生産意欲が減退しないよう、地元資源保全協議会や関係機関と連携を密にし、迅速に農業施設災害復旧事業等に取り組んでまいります。

藤原正幸前町長に 名誉町民の称号を贈る



厚真町制施行50周年記念式典で、前町長の藤原正幸さんに名誉町民の称号が贈呈されました。

藤原正幸さんは、平成4年7月に厚真町長に初当選以来、4期16年間にわたり、町長としての重責を担われました。

就任当時の時代背景は、バブル崩壊後の経済低迷期であり、めまぐるしく変わる社会情勢等不安定な時代の中、また、産業基盤整備の立ち遅れや市街地開発の停滞、未曾有の大水害や戦後最悪の冷害による被災によって町民生活や農業等へ大きな経済的打撃を受けるなど、町民生活に直結する生産環境の充実整備や農業をはじめとする生産基盤の高度化を図る必要に迫られた時代であったため、安定した生活と生産の基盤となる各種の基盤整備を進めるための、大型投資とこれらの事業推進を積極的に進めることを決意することにも、町民が「憂いが無く、安心して暮らすことのできる地域社会」を基本に「農業をはじめとする多くの産業の厳しい経済状況の打破」・「活力あふれる郷土づくり」と悔いのない町の将来を築くことを念頭に、二度にわたるまちづくり総合計画を策定実行するとともに、消防・防災体制の強化確立など、その卓越した識見と行政手腕によって本町発展に努められました。

藤原正幸さんは就任まもなく、台風および温帯低気圧の集中豪雨による氾濫・築堤決壊等による社会基盤の甚大な被害に直面した経験から、水害の無いまちづくりを進めるべく、厚真川をはじめとする河川の改修、治水対策にあわせて飲料水・農業用水の確保等目的とした多目的ダムの建設促進や農業基盤整備に取り組みされました。

また、土地区画整備事業による近代的な街並み整備や住宅地の供給、上下水道の普及拡大、町道の改良整備を精力的に進めるなど、町民の生活環境の向上に尽くされました。さらに教育文化の振興、福祉の増進、各種交流事業の推進など、町政と地方自治の発展伸張に大きく貢献されました。

こうした数多くの功績をたたえ、町制施行50周年記念式典において、宮坂町長から藤原正幸さんに厚真町名誉町民の称号が贈呈されました。

「ごくあたりまえの任事に、歳月を費やしてきただけ。長い町政の中で、人の輪を大切にしてきた。きっとマチの大きな力になると信じて…」

9・23

平成22年度の厚真町表彰式が、厚真町制施行50周年記念式典に合わせ9月23日、総合福祉センターで行われました。

表彰されたのは、町の発展や地域の振興に尽くされた9人の方で、宮坂町長から受賞者一人一人に表彰状と記念品が贈呈されました。受賞者を代表して、自治功労賞を受賞された池川義厚さん(表町)から「歩んできた道のりや皆さんの支えと協力が原動力でした。今日は、皆さまを代表して受賞しました」と謝辞が述べられ、受賞を見守った大勢の参列者から拍手が送られていました。

厚真町表彰式

地域振興等に貢献された9人を表彰

<p>自治貢献賞</p>  <p>藏重豊一さん(表町・71歳)</p> <p>長年にわたり町消防団員として町民の財産の安全保護のため献身的に予消防活動並びに災害応急活動に精励。消防団長の職責を担われ地方自治の進展に貢献。</p>	<p>自治功労賞</p>  <p>松平功さん(高丘・69歳)</p> <p>長年にわたり町議会副議長等の職責を担われ町政の発展に尽力され、また町社会福祉協議会会長として町民福祉の増進に精励されるなど町政伸張に貢献。</p>	<p>自治功労賞</p>  <p>池川義厚さん(表町・77歳)</p> <p>長年、町議会議員並びに農業委員会委員等の職責を担われ、また町交通安全協会会長として地域の交通安全道徳の普及と安全保護に精励され町政伸張に貢献。</p>
<p>社会貢献賞</p>  <p>本田博子さん(本郷・69歳)</p> <p>長年にわたり民生委員児童委員として民生の安定と児童福祉の向上に尽力され、地域社会の発展に貢献。</p>	<p>社会貢献賞</p>  <p>赤坂弘さん(幌里・73歳)</p> <p>長年にわたり民生委員児童委員及び民生委員協議会会長として民生の安定と児童福祉の向上に尽力され、地域社会の発展に貢献。</p>	<p>自治貢献賞</p>  <p>三國隆志さん(京町・66歳)</p> <p>長年にわたり町消防団員として町民の財産の安全保護のため献身的に予消防活動並びに災害応急活動に精励。分団長の職責を担われ地方自治の進展に貢献。</p>
<p>善行賞</p>  <p>南川君江さん(表町・69歳)</p> <p>長年にわたり交通安全補導員並びに交通安全指導員として交通道徳の普及と町民生活の安全保護に努力し、明るい社会づくりに貢献。</p>	<p>善行賞</p>  <p>石橋敬一さん(宇隆・75)</p> <p>長年にわたり交通安全指導員として交通道徳の普及と町民生活の安全保護に努力し、明るい社会づくりに貢献。</p>	<p>善行賞</p>  <p>脇田初恵さん(表町・64歳)</p> <p>長年にわたり交通安全指導員として交通道徳の普及と町民生活の安全保護に努力し、明るい社会づくりに貢献。</p>

9月のまちの話題



役場若手職員PT 和歌山市を視察

役場若手職員によるあたらしいなみPTが9月5～7日、サーフィンを活かしたまちづくりの先進地である和歌山県和歌山市を視察しました。PTは、県知事杯の見学や和歌山県庁、観光協会などを訪問し、同県のサーフィンどころ磯ノ浦海岸の周辺施設を中心に「飲食による経済効果」、「産学官の連携によるプロジェクト」などについて学びました。

和歌山県海草振興局鈴木局長は「意見を交え、潜在能力が高い町だと感じた」と話し、PTにとっては、今後の活動のヒントとなる有意義な時間を共有できたようでした。

陶芸同好会「じゅらく舎」で展示会を開催

陶芸同好会(杉井紀子代表)による陶芸同好会の作品展示が9月1日から10月31日まで、創作館・じゅらく舎で行われています。

この展示会は、同会員が思い思いに制作した作品約80点を展示。ずらりと並べられたマグカップや湯のみ、お皿など個性豊かな作品は、来場者を魅了していました。

同会代表の杉井紀子さんは「陶芸の魅力や楽しさを、町民の皆さんに知ってもらいたかった。じゅらく舎にぜひ足を運んでみてくださいね」と笑顔で話していました。



気分は縄文人！ 浜厚真で土器野焼き体験

町教育委員会主催による発掘体験会が9月18日、浜厚真海岸で行われました。この日は、8月7日に幌内のヲチャラセナイ遺跡で粘土で造形したものを野焼きする作業。町内から集まった7家族12人は、土器をたき火の周囲に並べ約3時間かけて火を通しました。参加者の森本さん(本郷)は「娘の希望で参加しました。気がつけば、娘より夢中になってましたね」と笑顔で話していました。



第15回PG大会の栄冠は南町自治会Aチームに!!

夏と秋の年2回開催され15回目を迎えた自治会対抗パークゴルフ大会が9月9日、新町運動広場PG場で11自治会から16チーム66人の選手が参加し、ナイトゲームで行われました。

開会式で宮坂町長が「パークゴルフを通して、自治会内外の方々と親睦と融和を深めてもらえれば、高い向上心を持ってプレーにのぞんで」と参加者に対し、激励の言葉を贈っていました。

古式ゆかしく献上米を収穫 富里の石井さん圃場で「抜穂祭」



刈りとった稲を束ねる石井さん(左)と浅野組組長

宮中行事の新嘗祭に奉納する稲を刈りとる「抜穂祭」が9月11日、富里の石井勉さんの圃場で行われました。

町内の各団体から約50人が参加し、古式にのっとりて厳かに稲を収穫。新嘗祭には、全国の各都道府県から新米が奉納され、道内では毎年2カ所を献穀田に指定し、今回本町が10年ぶりに選ばれたものです。

5月の御田植祭に引き続き主催のJAとまこまい広域の浅野組組長、宮坂町長、河村議長などが玉串を捧げ肅々と神事。耕作者の石井さんは「春先の低温や夏の異常気温が心配だったが良質な米ができた。よき日を迎えられてよかった」と安堵の表情を浮かべていました。

町制施行50周年記念式典

豊かな郷土を未来へ引き継ぐため、笑顔が広がるまちづくりを

町制施行50周年記念式典が9月23日、総合福祉センターで行われ、町内外から約200人が出席しました。

式典では冒頭、全員で厚真の発展に力を尽くした先人に黙とうをささげ、その後名誉町民称号の贈呈式や平成22年度厚真町表彰、厚真高校3年生による町民憲章の朗唱、アトラクションの幌内神楽などを通して、半世紀の節目を盛大に祝いました。

宮坂町長は式辞で「厚真の歴史は、町民の知恵と情熱が刻んできた。フロンティアスピリッツと誇りを胸に今後も歩む。よりいっそう厚真を愛する心をはぐくみ、大いなる田園の町として邁進していく」と約束。町民憲章の朗唱は、厚真高校3年生の森田知和くん、山田美沙紀さんの2人が登壇し、「若人の未来に夢と希望を持てる明るい町を作りましょう」と力強く呼びかけました。

式典終了後の祝賀会では、オール厚真産の料理が振舞われ、来場者の目や舌を魅了するなど厚真ならではの雰囲気でもてなして、町制50周年に花を添えました。



式辞を読み上げる宮坂町長(上)と伝統芸能の幌内神楽

かわいい子供服と雑貨の販売「てづくり市」初開催

毎週木曜日に表町の北島さん宅で開かれているもぎたて市の会場で9月9日、子ども服やキッチングッズなど手作り品を販売する「てづくり市」が初めて開催されました。

これは、もぎたて市を主催するあつままくらぶ(石橋実穂子代表)の呼びかけで実現。午前11時半の店開き直後から大勢の主婦が押し寄せ、会場にはぎわいをみせていました。札幌や苫小牧でも販売経験がある宮野和美さん(表町)は「いろんな人に足を運んでもらいたいです。機会があればまたやりたいですね」とこやかに話していました。



手作りの子ども服や雑貨がズラリ



長寿を祝う敬老会 247人が和やかに歓談を楽しむ

町敬老会が9月12日、総合福祉センターで行われ247人のシルバーが出席し長寿のお祝いを受けていました。

今年度の対象となる方は、100歳以上の方が5人、90歳以上の方が86人、米寿(88歳)の方が33人、一般敬老(昭和6年12月31日以前生まれ)が473人の計597人。宮坂町長が「皆さんの若さ溢れる元気な姿を見て嬉しい。素晴らしい健康管理。80歳を超えた今もなお、第一線で活躍していただいている。これからも郷土厚真を背負って行って」と先輩たちに話していました。



神輿をかついで練り歩く子どもたち

厚真神社の秋季例大祭、粋に神輿行脚

厚真神社の関係者、地域の子どもたちとその父母などが一体になり9月16日、同神社の秋季例大祭に合わせて神輿行脚が行われました。中央小学校の1～3年生までの児童・父母を中心に約100人が参加。午後2時半から、同神社の関係者や子どもたちなどが粋な姿で神輿をかつぎ、苫小牧信用金庫厚真支店前から厚真神社まで元気いっぱい練り歩きました。年中行事であるこの日を心待ちにしていた子どもたちの「ワッショイ、ワッショイ」という大きなかけ声が、いつまでも町中のいたるところで鳴り響いていました。

「アツマルシェをやってみたいですね！」

村上巧さん・朋子さんご夫妻は、一昨年9月に上厚真に移住。自宅兼店舗として、巧さんがサーフショップ、朋子さんが着物リメイク工房を営んでいます。そのご夫妻が、町内外のお店や個人の横のつながりを生かしたマルシェを昨年に引き続き開催しました。この日9月25日は今年3回目のオープン。たくさんの来場者が訪れ、着物リメイク品をはじめ骨董品や新鮮野菜など品数豊富な各店舗はにぎわっていました。村上さんは「厚真で最近イベントが増えています。ぜひ一緒になってやっていければ。アツマルシェをやってみたいですね」と笑顔で話していました。



笑顔で接客する村上さん(中央)



秋色の中、稲刈りを楽しむ参加者

田んぼのオーナー 家族で稲刈り体験

町観光協会(寺坂文秀会長)が行っている田んぼのオーナー制度の稲刈りが9月26日、事業に協力している幌内の小納谷守さんの田んぼで行われ、江別や苫小牧などから6家族22人のオーナーやその家族が参加しました。作業に先立ち寺坂会長が「無事に豊穡の秋を迎えた。今日はケガに気をつけて稲刈りを楽しんで」とあいさつ。小納谷さんなどの手ほどきで参加者の皆さんは、カマを片手に1株ずつ丁寧に稲を刈り、その姿をカメラやビデオで撮影していました。刈り取った稲は、脱穀や乾燥、精米し10月上旬にオーナーに手渡されます。

宅急便のお兄さんと交通安全教室

京町保育園こぐまクラブでは9月24日、保育園横の園庭でヤマト運輸(株)厚真営業所の協力により交通安全教室を行いました。営業所員2人が車両2台とともに来園し、園児たちに急な飛び出しが危険なこと、ボールが車の下に入ってしまったとしても自分でとりにいかないこと、車が交差点などを曲がるときは巻きこまれる危険があるので、道路のすぐそばまで近づかないことを車両や道具を使って実演しながら丁寧に教えていました。その後、子どもたちは園庭に設けられた仮設の交差点で教えられたことを守りながら横断していました。



手を上げて模擬交差点を歩行する園児たち



J A 浅野組合長から新米40kgが手渡される

J A から新米40kg 子供たちの給食に

J A とまこまい広域(浅野勝善組合長)から9月30日、浅野組合長などが役場を訪れ、宮坂町長と兵頭教育長に子供たちの給食用にと新米の「たんとうまい(ななつぼし)」40kgなどを寄贈していただきました。浅野組合長が「今年は春先の低温、夏の異常高温で作柄は心配されたが、腹白で食感に程よい粘りのあるおいしいお米ができました」と手渡し、受け取った宮坂町長は「丹精込めて作られたお米をいただき感謝します。子供たちの学校給食に大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べていました。

まちの話題 plus

厚南デイサービスセンターで火事を想定

訓練放水を披露。秋季消防演習に約60人が参加



機敏に消火訓練を行う署団員

9月7日、厚真消防団と胆振東部消防組合消防署厚真支署による秋季合同模擬火災演習が、厚南デイサービスセンターで行われ、消防車など車両12台が出動し団員計約60人が参加しました。高齢者が利用する同施設の火災を想定し、負傷者もいるなどの設定で訓練を実施。訓練が始まると施設に向けて一斉放水したり、逃げた人のケガの手当てをするなど、関係者はきびきびとした動きで本番さながらの訓練に励んでいました。胆振東部消防組合管理者の宮坂町長が「日々の訓練が成果に表れている。最近は大きな火事、災害はないが決して油断しないで」と述べ、あらためて気を引き締めるよう訴えていました。

軽小で全道へき地・複式教育研究大会

第59回全道へき地・複式教育研究大会胆振大会が9月17日、軽舞小学校(油谷論校長)で行われました。この研究大会は、少人数の特性を生かした学習指導の充実などを図り、心豊かでたくましい子どもをはぐむことをテーマに開催されたもので、胆振管内を中心に約100人の教職員が参加。会場校の油谷論校長は「閉校の年に開けたのは大変光栄。全道から多くの教職員の方にきてもらい、軽舞小のこれまでの教育、子どもたちの姿を見てもらえたことに今日の意義がある。ざっくばらんに、日頃の授業風景を見てもらえれば」と話していました。



いつもどおりに学習に取り組む児童たち

たわわな実笑顔!! コクワ狩り開園

厚真町特産物研究会(長谷誠良会長)のコクワ狩りが9月22日から開園しました。昨年の試行が人気を呼び今年も展開することに。同研究会は、新たな特産品化にチャレンジするためコクワやマタタビなどに注目。特にコクワは、ビタミンCなどの栄養価が高く疲労回復の効能があるといわれ、さらに「こくわワイン」の登場も認知度向上の後押しとなっています。そのため早めに取り尽くされるうれしい心配も。長谷会長は「1人でも多くの方にコクワを楽しんでもらいたい。ハスカップ同様にマチの特産物になれば」と抱負を話していました。



農園でこくわを手づみする来園者

琴の音色に魅了。中央小で音楽鑑賞会

教育委員会主催による児童生徒音楽鑑賞会が9月8日、中央小学校の体育館で行われ「なおこBAND」の琴を中心とした演奏を小学生が午前、中学生が午後とそれぞれに分かれて鑑賞しました。午前の部では、町内の小学校から全児童約200人が鑑賞。同バンドが作詩・作曲したものや童謡など15曲を披露していました。また児童の代表4人がステージに上り、琴を使って「さくらさくら」を同バンドと一緒に演奏する場面も。演奏した工藤由真さん(中央小・6年)は「すごくきれいな音ができました。とっても楽しかったです」と笑顔で話していました。



ステージにクギづけになる町内小学校全児童

私の大切な家族

チン ♀ 1歳6カ月 (猫・ミックス)

新町 山田 政紀 さん家族



なかよしの蓉子さんに抱かれるチン

「いつも私の首元で丸くなって寝ているんです。冬の日には暖かくてうれしいですけど、今年の夏はさすがに暑かったですね」とやさしく笑う娘さんの蓉子さん。

ある日、知り合いの猫がたくさん生まれて、見てたらかわいくて一匹を譲り受けることに。そしてこの4月、蓉子さんと一緒に厚真にきたチンは山田家で暮らし始め、今ではすっかり家族にとけこんでいる。

「お刺身が大好き。特にヒラメには目がありません」とチンの好物を話す蓉子さんはうれしそう。「とっても甘えん坊で私にべったり。一人でいられない性格なんです。父や母もかわいがってくれます」と話す。そんなチンは若い男子が苦手。「運動音痴で、高い所に登ろうとしては落ちるんです。その瞬間のはにかむ表情を見てたらギュッと抱きしめたくくなりますね」と笑った。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループ広報担当まで (TEL27-3179)

本

私の出会った素敵な本

「大地の子」

山崎 豊子/作

上厚真 三上 由美子 さん

「この本は実話に基づかれ、中国残留孤児・陸一心の波乱万丈の半生を描いた物語です。終戦を迎え、自らの意志で中国に残ったわけでないのに、その後は日本人ということで様々な憂き目に遭ってしまう…。読み進めるうちに胸が苦しくなりました」と話す三上さん。

この作品は、ほぼ実在の建物や人物をモデルにし、NHKの放送70周年記念番組として、日中の共同制作によりドラマ化もされた。

「戦争を過去の事と言ってしまえば、あまりにもやりきれない。決して片付ける事のできない歴史の負の遺産が、この小説には描かれているんです。今は豊かになり少しずつ忘れてしまう。実は忘れてしまうことが恐ろしいことなんです。二度と同じ過ちを犯さないように、一人一人が平和に対する考えをしっかりと持たなければいけませんね」と強調する。ジャンルは問わず、本が好きだと話す三上さん。「本を読むことは、癒しでありストレス解消になりますよ」とほほ笑んだ。



出会い

人

ふるさと

凶鑑

私の夢は「小学校の先生」です

錦町 鬼頭 早春 さん (22歳)



太陽よりも明るく、どんな宝石よりもキラキラ輝く笑顔がステキな鬼頭早春さんの「夢」って何？

「生まれはここ厚真ですよ。小さい頃は、よく公園で鬼ごっこをしてたりしてたな。とにかく体を動かすこと、スポーツが大好き。それは今でも全く変わりませんね。私の実家はお米屋さんなので、昔は精米の袋詰めや配達なんかも手伝っていました。今は…」と幼き頃から活動的だった鬼頭さん。

「私は、青春時代のほとんどをスピードスケートにささげました。始めたきっかけは、小2の時に友達に誘われたから。練習は本当に辛かったんですけど大会での好成绩が励みとなり、そして全国大会で出会った選手たちと友達になったりして仲間の輪が広がり、毎日忙しかったけど楽しく過ごせましたよ」と白い歯がこぼれる。

教育大学時代は氷上の競輪とも呼ばれる「ショートトラック」に挑戦し、接触や転倒も日常茶飯事だったという。「練習は真切らない」。その後日々のトレーニングをひたむきに頑張った鬼頭さんは、国体出場へのキップを手にした。

「これからは、私がスケートを通じて得た財産を今度は指導者として、子供たちにしっかりと伝えていきたいですね」とほほ笑む。

現在は教育サポーターとして、将来の礎となる学校教育を学ぼうと町内の小学校で授業の補助や子供たちと一緒に体を動かしながら、実際の教育現場を肌で感じている。

「学校という場所は、いつも大好きな子供たちと繋がっていられるような気がする。心から幸せを感じるんです」と鬼頭さんは話す。

最近、もっぱらハマっていることは、休日にボウツと厚真の星空を眺めること。とっておきのお気に入りの場所があるが「秘密」だ。

「夢は『小学校の先生』になること。夢って諦めさえしなければ絶対に叶うと思うんです。この夢は、中学生の頃から今まで一度も変わる事がなかった…。私が思い描く理想の教師像は、子供たちに大きな夢を与えられるような先生であること。そうなるために、これからも一生懸命勉強します」と笑顔で抱負を語る鬼頭早春さんだ。

(おことわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載について
の確認ができた方を掲載しています。

人のうごき

8月30日～9月30日届出分

- ★誕生おめでとう (4人)
- 鯉 沼 工藤 俊人くん 8/30
(父—英暢^{さん}・母—元子^{さん})
 - 新 町 田畑 元汰くん 9/12
(父—秀也^{さん}・母—ひろみ^{さん})
 - 新 町 畑中みなみちゃん 9/13
(父—潤也^{さん}・母—祐美^{さん})
 - 上厚真 丹羽 康介くん 9/18
(父—俊介^{さん}・母—綾子^{さん})
- ★ごめい福をお祈りします (6人)
- 幌 内 岩淵 正一さん 83歳 9/4
 - 幌 内 小野 顯さん 79歳 9/4
 - 本 郷 南部 和子さん 81歳 9/8
 - 富 里 成田 勇さん 73歳 9/17
 - 本 郷 池川 誠一さん 85歳 9/26
 - 鹿 沼 長谷川志彦さん 98歳 9/29

マチの善意

- 社会福祉協議会へ寄付
- ・共栄 佐藤 悦子さん
 - ・幌内 岩淵ナミ子さん
 - ・東和 戸田 靖男さん
 - ・宇隆 池川 登美子さん
 - ・新ひだか町 安田 勝昭さん

子育て講座「ベビーマッサージ」

日時 11月17日(日)10:15～11:15
場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」
対象 3カ月～8カ月までの乳児
持ち物 バスタオル、タオル(オイル拭き取り用)
申込締切 11月12日(金)
申込先 子育て支援センター
☎27-2438 (直通)

ホツとひといき

久々に実家に帰った。孫を抱えながら母が尋ねてきた「今は何の業務か」と「広報だ」と答えた。そうすると共感するように大きく頷きながら、幼少の頃に手がけた学級新聞を引き合いに、大変だったと語り始めた。「母よ、こちらはもう少しは大変だぞと言いたい。昔から母は、子ども達に自由気ままにやらせ、あまり干渉してこない自由放任主義だった。経済活動ではないが、同思想を唱えるイギリスの経済学者アダム・スミスもきつと驚くだろう。驚きついでに言うが、母は約束の時間を守らない。ただ遅刻するのではなく、仮に9時に約束すれば8時に来たりと極端に早いのだ。「なぜだ？」と問えば、「9時も8時もたいして変わらない」と返ってきてしまう。1時間ズラして伝えるかなどあれこれ考える。時間の概念をも逸脱するこのセリフ、無茶苦茶すぎて思わず笑ってしまうが、このくだらないかけ合いで母の元気な姿を再確認する。(田)

キッズ11月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

月	火	水	木	金
1 「Hello えいご」 開放日	2 開放日	3 休館日	4 開放日	5 開放日
8 「Hello えいご」 開放日	9 開放日	10あそびの広場 『うさぎの馬拉カス』 ※敬老の日プレゼント 前日までに予約してね	11 開放日	12 開放日
15 開放日	16 開放日、保育園 ホール開放	17 子育て講座 『ベビーマッサージ』 (予約要)	18 開放日	19 開放日
22 開放日	23 休館日	24あそびの広場 『かくれんぼツリー』 ※前日までに予約して ね	25 開放日	26開放日、午後は おもちゃ洗いのため休館
29 開放日	30 開放日	毎週水曜日の午後はサークル活動利用日です。 お母さんたちの集まりにご利用ください (予約が必要です)。		

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ！
厚真町ホームページ <http://www.townatsuma.lg.jp/>
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター

※利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

※『あそびの広場』 第2・4水曜日の午前中
1歳～就学前までのお子さんとお家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご!』 開催日の午前中
「Hello えいご!」英語指導助手のメラニーさんが来てくれます。遊びながら英語にふれることができます。年齢に関係なく興味のある方は、遊びに来てください。

※開放日には、お気軽に遊びに来てください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、その他
かお問い合わせなどは
☎27-2438 (直通) 子育て支援センターへ!!

※お問い合わせ先は、子育て支援センター「ゆうゆう島」です。

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に、今月は『図書カード』をプレゼントします。

問題

年2回行われているパークゴルフ大会。今回も、11自治会から16チーム66人と大勢の方が参加され、熱戦を繰り広げました。

さて、優勝チームはどこでしょうか？

【ヒント】今月号の広報を見てね。

▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 10月29日(金)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120
厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)

【9月号の答え】 200曲

【9月号の正解者】 9月号の応募者は12人で、全員正解でした。抽選の結果当選された方には、後日賞品を発送します。

Quiz・クイズ

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさんに教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

声

みんなの広場

寄せられた声

先日、役場前を通るとゴミを拾っている女性職員の方を拝見いたしました。

名前を存じあげませんが、大きな声と笑顔であいさつされ、とても気持ち良く感じの良い方でした。

(匿名)

町制50周年記念町民植樹祭
植栽地の愛称(ネーミング)
大賞作品

君達の森

(きみたちのもり)
～「次世代の君達に贈る森」
という願いを込めて～

考案者 館山 睿さん(浜厚真)
優秀作品:『あつま未来の森』 井上次男さん(本郷)
『あつま未来の森』 奥平恒望さん(新郷)

決定



各賞を受賞した3人



大賞を受賞した館山さん

サークル訪問

詩吟・吟舞同好会



代表/藤江利津子さん
会員/17人
活動日/毎週月・火・土曜日
活動場所/福祉センター・厚南会館
対象/一般
連絡先/☎28-2226 (代表自宅)

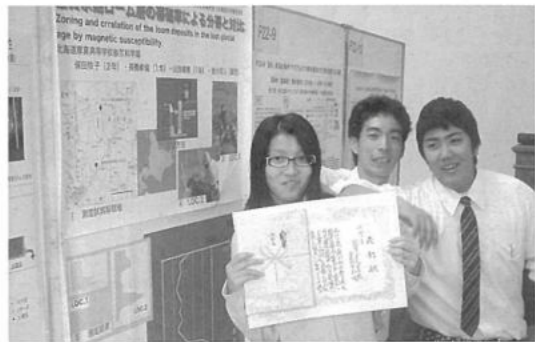
詩吟の音色にあわせ力強く演舞するその姿は、華麗かつ多彩、見ている人の心をとりこにしてしまう…。

「踊りはもちろん、礼儀作法も楽しく覚えることができますね。子どもからお母さん、おばあちゃん3世代で習いにきているご家族もいるんですよ」と代表の藤江さん。

「会の子どもたちには驚かされますね!少しでも上達したいという気持ちから、稽古に取り組む姿勢が素晴らしいんですよ。だから上達が早いのです」と胸を張る。

福祉センターで年1回行われる審査発表会は、会員の方々にとって、日々の稽古の成果を披露する場所となる。「ここ厚真で、日本の伝統芸道である『吟舞』を広めていきたい。上手、下手は全く関係ありません。まずは踊ることを楽しんでもらえれば」と笑顔で話す藤江さんだ。

掲載を希望するサークルなどはまちづくり推進課企画調整グループへ
(☎27-3179)



厚高インフォメーション



136

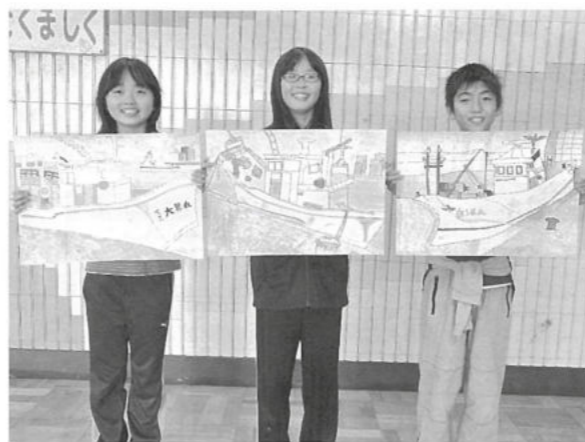
自然科学部の学会発表報告

去る九月七日、日本土壤肥料学会二〇一〇年大会が北海道農業学部で開催されました。本校自然科学部の保田牧子さん、長橋孝倫君、山田晴輝君の三名(いずれも厚南中出身)が高校生ポスターセッションで研究成果を発表しました。

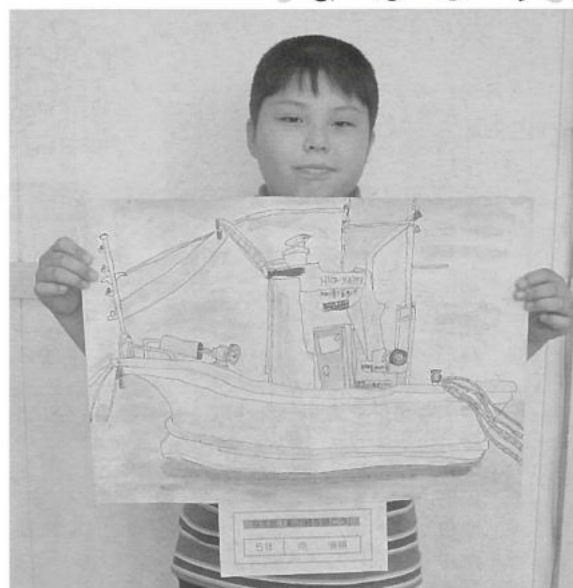
発表テーマは「最終水期ローム層の帯磁率による対比と分帯」でした。この研究は、ローム層の帯磁率の時系列変化を基にローム層を分帯し、離れて分布するローム層同士を対比することを目指しました。これは考古学や地形学などに広く応用できるものです。

会場の北大農学部には全国から多くの研究者が集まり、本校生もそれに混じり発表しました。専門的な質問が飛び交う中で発表に苦戦していましたが、苦戦するほど理解は深まるもので、今後の課題につながる大きな成果をあげることができました。

本校の発表は優秀賞を受賞し、閉会式で南條正巳会長(東北大学教授)から代表の保田牧子さんに表彰状と副賞が授与されました。生徒達にとって貴重な経験となりました。



わたしたちの作品



軽舞小6年 左 目黒ひよりさん(11)
中 西村あかねさん(11)
" 5年 工藤拓弥くん(11)

「みんなで、厚真漁港に行って写生をしました。海の色や波の様子を上手に描けましたね。船の形は苦労しました…。自分たちで点数をつけるなら85点かな!？」

富野小 5年
みなみ しんさく
南 慎翔くん(10)

「空や海の色を水で薄めながら、素敵な色が作れました。2~3回塗り重ねるところが難しかったよ」

今月の記念日

10月2日は「豆腐の日」

10と2で「トーフ」と読むことから制定されました(毎月12日を「豆腐の日」とする場合もあります)。

昔から長寿食といわれてきた豆腐。近年の研究により、良質なたんぱく食品として立証されているほか、ガンや高血圧、心臓病、肥満などの予防・抑制に役立つ機能性食品としても注目されています。成人では一日五十〜八十グラムのたんぱく質が必要といわれています。豆腐は大豆食品なので、たんぱく質をたっぷり含んでいます。しかも消化吸収率が高いので、胃に負担がかかりません。夏には冷たい飲み物や食べ物を取り過ぎてお腹をこわすことがよくあります。そんなときの体力回復に役立ちます。たんぱく質を補うとともに、九十%を占める水分が脱水症を防いでくれます。

豆腐の植物性たんぱく質は美容にも効果的です。動物性たんぱく質では同時に飽和脂肪酸を含む脂肪を吸収してしまい、過剰な油が皮膚から分泌され、毛穴が大きく開いてしまいます。なめらかな肌を保つには、豆腐の植物性たんぱく質が向いています。

また、豆腐が健康食品といわれるのは植物性脂肪を多く含んでいるから。植物性脂肪は、不飽和脂肪酸で、肥満や動脈硬化、心臓病など生活習慣病の原因になるコレステロールを少なくする働きがあります。成長期の子どもの肥満解消にも豆腐は効果的です。

食物繊維も豆腐から。肌のトラブルにもなる便秘を解消するには繊維質を多くとって腸の働きを活発にすることが大切ですが、豆腐の副産物であるおからは、食物繊維がそのまま残されています。

豆腐業界関連のウェブサイトに、季節にふさわしい、豆腐を使ったレシピが紹介されています。豆腐にひと手間加えることで、さまざまな栄養素を上手にとりましょう。

文芸あつま ◆短歌◆

はじめての胃カメラの映像見つめつつ医師のことばに耳そばたてる
とうきびの苗をいただき思案する鳥獣被害を如何に守るか
人の世の性は果てなしあらそいのあらずをひたすら祈るほかなし

(新町 金本 年子) (本郷 森本 厚子) (浜厚真 山田 志津)

ぼくの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな

その107 厚真中央小学校



厚真中央小学校3年生のみなさん

(書いてくれたのは) 勝木汰一くん、笠原あいかさん、金澤美玖さん

わたしたち中央小学校は3年生は、男子7人、女子7人、合わせて14人で、学校で一番人数の少ないクラスです。

たんにんの先生は多田先生です。体育が得意で、おもしろくてまじめな先生です。

クラスの良いところは、いつもみんなが笑顔でいるところです。それは、おもしろいことをして、みんなを笑わせてくれる友だちがいるからです。

それから、勉強も音楽も行事も、なんでもさいごまであきらめずにがんばっているところもよいところです。

今は十月の学芸会に向けて、歌やリコーダー、ポディーパーカッションの練習をがんばっています。また、係活動では、よいクラスにしようとアンケートを作って一人一人が、がんばっています。

これからも、みんなで楽しく笑って、がんばれるクラスでいたいです。

交通安全鼓笛隊パレードの様子
9/30に中央小学校の児童が、秋色に色づく街を練り歩きました。

ほけんの掲示板 11月



離乳食講習会

とき 25日(木)10:00~13:30ころ
 ところ 総合ケアセンターゆくり
 対象 H22.5.5~H22.8.10生まれ(3~6カ月)の乳幼児健診受診後のお子さん
 持ち物 母子手帳、筆記用具、エプロン、手ふきタオル
 申し込み 17日(木)までに町民福祉課健康推進グループへご連絡ください。

乳児健診

とき 10日(木)
 3~6カ月児 13:30~13:50
 9~12カ月児 13:00~13:20
 ところ 総合ケアセンターゆくり
 対象 H22.5.5~H22.8.10生まれ(3~6カ月)、および、H21.11.5~H21.2.10生まれ(9~12カ月)のお子さん
 持ち物 母子手帳、バスタオル
 *3~6カ月のお子さんはアンケートとBCG問診票も必要です。押印の上お持ちください。

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 11月22日(月) 11月24日(水)~26日(金)
 ※25日(木)午後は休診です。
 ところ あつまクリニック
 受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを行ってください。
 受付時間は9:00~11:30、14:00~16:30です。
 対象 ①生後12カ月~24カ月までのお子さん
 ②平成16年4月2日~平成17年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
 ③中学1年生(平成9年4月2日~平成10年4月1日生まれの方)
 ※上記以外の方は保健師にご相談ください。
 持ち物 ①②の方…母子手帳、印鑑
 ③の方…母子手帳、予診票様式三、(保護者が同伴できない場合は、予診票様式四《保護者が署名したもの》)をご持参ください。

三種混合予防接種

とき 15日(月)~19日(金) ※18日(木)午後は休診です。
 ところ あつまクリニック
 受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを行ってください。受付時間は9:00~11:30、14:00~16:30です。
 対象 ①1期初回~初めての 경우에는、生後3カ月~12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を越えている場合は48カ月までにできるだけ終了してください。
 ②1期追加~1期初回接種(3回)終了後、12カ月~18カ月までにできるだけ終了してください。
 ※上記以外の方は保健師にご相談ください。
 持ち物 母子手帳、印鑑

11月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病院名	住所(苫小牧市)	電話番号(0144)
3日(水)	内科系	いまい内科クリニック	双葉町1-4-2	37-8686
7日(日)	外科系	ケアアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000
14日(日)	内科系	沖医院	旭町4-4-15	32-8870
21日(日)	外科系	アーク整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	68-6111
28日(日)	内科系	たかやなぎ小児科	日新町2-7-8	71-2115
(水)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
(木)	内科系	やまざきこども医院	大成町2-3-1	75-1133
(火)	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
(土)	内科系	柴田内科循環器科	桜木町1-24-18	71-2225
(日)	外科系	双葉外科医院	双葉町2-10-17	32-5470
(月)	内科系	吉川医院	表町5-2-3	34-4565
(火)	外科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151

(診察時間) 9:00~17:00
 当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。(お知らせ)
 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。
 ホームページアドレス
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
 電話 フリーダイヤル 0120-20-8699
 携帯電話・PHSからは 011-221-8699



乳がん検診を受けていますか？

日本は、世界一の「がん」大国です。日本人の約3人に1人が、がんで亡くなっており、2人に1人弱は一生の間にがんにかかるといわれています。

なかでも乳がんは、近年かかる方が急増しており、日本人女性の16人に1人が、がんにかかると言われていています。50歳前後の発見が最も多いがんですが、近年では、30歳代からの罹患、死亡者数が増加しているのが特徴です。治りやすいがんのひとつですが、転移しやすく、10年以上経過してから再発することもある、油断できないがんです。



⑤ 太り過ぎない。



④ 運動を定期的にする。

Ⅰ 乳がんで命を落とさないためには…
 Ⅰがんで遠ざける生活をする
 ①野菜・果物をしっかり食べる。脂肪の多い食品は控えめに。

Ⅱ がん検診をきちんと受ける
 今年度、町で実施する乳がん検診については、折込はがきを参照してください。

【症状】

- 乳房のしこり
- 乳房のえくぼなど皮膚の変化
- 腋の下のリンパ節のはれ
- 乳頭からの分泌液
- 乳房の皮膚のただれ(びらん)
- 腕のむくみ、しびれ

Ⅲ月に一度は自己検診をする
 乳がんの大きさが、0.5~1.0cmくらいになると自分自身で触ってわかるくらいのしこりになります。また、乳房に見た目でわかる異変が出ることもあります。下記を参照にしつかりと乳房に変化がないか、チェックしましょう。

町では、厚真町にお住まいの女性のみですが、乳がんで命を落とすことのないよう、下記の事業を実施しています。該当するみなさんはぜひ活用して乳がん検診を受けてください！

- 1 乳がん検診および子宮がん検診の実施(折込はがき参照)
- 2 総合がん検診の実施(折込はがき参照)

【役場町民福祉課健康推進グループ】

詳細については、役場町民福祉課健康推進グループ保健師
 (TEL) 26-7871 内線102・118)までお問い合わせください。

4 乳がん検診受診費の一部助成
 上記1~3の対象者に該当しない30歳以上で厚真町に住所を有する女性が、乳がん検診を医療機関または検診実施機関等で受診された場合の検診受診費を一部助成(乳がん検診等に要した費用の2分の1の額とし、その上限額は3,000円とする)しています。

3 女性特有のがん検診推進事業「無料クーポン券」の発行
 ※対象者の方には、5月下旬に郵送で「無料クーポン券」を送付済みです。まだ受診されていない方はクーポン券の有効期限が、平成23年2月28日までとなっておりますので、期日までに受診してください。



苫小牧市夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜日	受付時間
月曜日~金曜日	19:00~翌朝7:00
土曜日	14:00~翌朝7:00
日曜日	9:00~翌朝7:00
年末年始(12/31~1/3)	9:00~翌朝7:00

(住所) 苫小牧市旭町2-9-2
 (電話番号) 0144-35-0001
 ※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
 また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
 携帯電話用 URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
 ※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

「がんになつてから後悔しないために、がん検診を年に一度は必ず受けましょう」

募集 役場の臨時職員を募集します

役場総務課では、次により一般事務の臨時職員を募集します。

- 職種・人数 一般事務・1人
年齢 町内在住で60歳以下の方(性別は不問)
勤務条件
勤務時間 午前8時30分〜午後5時30分(内7時間45分)
勤務日 土曜・日曜日、祝日を除く毎日
賃金 月額135,600円(賞与なし)
雇用期間 平成22年11月1日〜平成23年3月31日
社会保険は、健康保険法、厚生年金保険法および雇用保険法に基づいて適用されます。
応募資格
パソコン(ワード・エクセル)を使える方
雇用期間中、積極的に就職活動をする意向のある方
応募方法
履歴書を役場総務課総務人事グループへ直接提出してください。
※原則として窓口受付としますのので、ご面倒でも役場までお越しください。
応募期限 10月20日(水)
選考方法
書類選考または面接となります

散布 殺鼠剤空中散布を実施します

厚真町内で、野ねずみの食害から森林被害を守るため、ヘリコプターによる薬剤(殺鼠剤)散布を次の内容で実施します。

- 実施予定期間 11月5日(金)から11月10日(水)までの4日間
※天候の状況により変更になる場合があります。
時間 午前8時から午後4時ごろまで
場所
民有林および道有林
面積および数量
民有林/1,368・06畝
道有林/139・84畝
1畝当たり0・8kg散布
薬剤名
リンカS1粒剤、三共リン化亜鉛10粒剤
(農薬取締法による登録を受けている農薬)
問い合わせ先
民有林は、苫小牧広域森林組合厚真支所

募集 空き家バンクの登録住宅を募集しています

空き家バンク制度は、町内に空き家を所有する方が空き家の売却または賃貸を希望される場合、空き家バンクに登録していただくことにより、町ホームページへの掲載や登録台帳の公開などの方法で広く情報を提供し、空き家の利活用による定住化の促進を目的とするものです。

この制度は、個人では困難な空き家情報の提供を町がお手伝いするものであり、空き家の売買または賃貸等の交渉および契約に町が関与することはできませんので、契約の手続きに際しては、所有者本人が直接行うか、司法書士など不動産取引の専門家に依頼していただくこととなります。
この制度に関する詳しい内容は、役場まちづくり推進課事業推進グループにお問い合わせください。
問い合わせ先
役場まちづくり推進課事業推進グループ(☎27-3179)

講演会 平成22年度厚真町文化講演会のお知らせ

教育委員会では、次により「文化講演会」を開催します。お気軽にお越しください。

- 日時 10月26日(火)
開場/午後5時45分
開演/午後6時
会場 総合福祉センター大集会室
講師 アグネス・チャンさん(歌手、エッセイスト)
内容 「明るくさわやかに生きる〜アグネスが見つめた生命〜」講演に先立ち札幌交響楽団によるオーブニングコンサートがある

11月の運転免許証更新講習の日程

苫小牧交通安全センターで行っている運転免許証更新講習(優良)の日程をお知らせします。
午前10時開講: 1日(月)、2日(火)、4日(木)、8日(月)、9日(火)、12日(金)、16日(火)、17日(水)、19日(金)、24日(水)、26日(金)、30日(火)
午後1時30分開講: 18日(木)
午後3時30分開講: 11日(木)、25日(木)
※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。
※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。
問い合わせ先 (株)苫小牧地区交通安全協会(☎144-33-1458)

第27回東胆振物産まつり

東胆振の1市4町(苫小牧市、白老町、安平町、むかわ町、厚真町)の特色を生かした農水産加工・農産物、民芸品が一堂に集まる物産まつりです。
皆様のご来場をお待ちしています。
日時 10月29日(金)〜31日(日) 10:00〜18:00
※ただし、31日は10:00〜17:00
場所 苫小牧駅前プラザegao(えがお) 7階イベントホール
問い合わせ先 役場産業経済課商工観光林業グループ(☎27-2486)



昨年の厚真特産品コーナー

確認 国勢調査の調査票の提出をお願いします

総務省では、統計法という法律に基づき、10月1日を基準日にし、日本に住んでいるすべての人および世帯を対象として、国勢調査を実施しています。

国勢調査では、住民票の届出に関係なく、皆さまがふだんお住まいの場所での調査を行います。また、統計法に、調査票に記入して提出する報告義務が定められています。

まだ提出されていない場合は、至急、調査票にご記入の上、調査票提出用封筒に入れて封をして調査

募集 苫小牧高等技術専門学院の学生を募集します

北海道立苫小牧高等技術専門学院では、次により平成23年度の学生を募集します。

- 募集科目および応募資格
普通課程
自動車整備科、電気機器科、金属加工科/訓練期間1年間/平成23年3月に高等学校を卒業する方または高等学校卒業と同等以上の学力を有する方
短期課程
12月1日(月)〜11月20日(土)
12月1日(水)〜1月20日(木)
入学選考日
普通課程 12月6日(月)
短期課程 2月7日(月)
入学経費等
①普通課程は、入学検定料2,200円、入学科5,650円、授業料118,800円(年額)が必要です。
②入学諸経費は、94,000円/112,000円が必要です。
問い合わせ先
北海道立苫小牧高等技術専門学院(☎0144-551-7007)

募集 学力を有する方

- 短期課程
エクステリア技術科/訓練期間1年間/平成23年3月に中学校を卒業する方または義務教育卒業以上の学力を有する方
応募手続き
①入学願書、健康診断書、受験票を提出してください。
②離転者の方は、最寄りの職業安定所にご相談ください。
願書受付期間
普通課程
11月1日(月)〜11月20日(土)
短期課程
12月1日(水)〜1月20日(木)
入学選考日
普通課程 12月6日(月)
短期課程 2月7日(月)
入学経費等
①普通課程は、入学検定料2,200円、入学科5,650円、授業料118,800円(年額)が必要です。
②入学諸経費は、94,000円/112,000円が必要です。
問い合わせ先
北海道立苫小牧高等技術専門学院(☎0144-551-7007)

赤い羽根共同募金

10月1日〜12月31日

国民の助け合い運動として昭和22年に始まった共同募金運動。どなたでも参加いただけるよう、皆さんの身近にはさまざまな募金方法があります。

- 戸別募金 自治会などを中心に各家庭ごとにご協力をお願いします。
法人募金 企業の皆さまに所在する地域の社会福祉向上のため、ご協力をお願いします。
街頭募金 啓発運動の一つとして、各地の中心部で行っています。
興行募金 各地域でさまざまなイベントを開催し、その益金を寄付していただいています。
募金はこのように使われています。
・わたしたちのまちの福祉のために
・子どもたちや母子・父子家庭の福祉のために
・お年寄りの福祉のために
・NPO団体やボランティアの活動のために
・ハンディキャップを持つ方々の社会自立のために
・共同募金運動推進のために など

報告 厚真ひまわりバレーボール少年団が準優勝

厚真ひまわりバレーボール少年団(立石恵輝監督)が、9月18〜19日にかけて江別市民体育館で行



戦後強制抑留者の皆さまへ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金の請求受付が、平成22年10月25日(月)から始まる予定です。
対象者は、戦後強制抑留者で平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方です。
請求受付期間は、平成22年10月25日〜平成24年3月31日です。
当基金から請求書類をお送りしますので、お待ち下さい。
ただし、平成19年度〜平成21年度に特別慰労品(旅行券等引換券など)を受けておられない方は、当基金にお電話ください。請求書類をお送りいたします。
(お問い合わせ先) 独立行政法人平和記念事業特別基金事業部特別給付金担当 0570-059-204(ナビダイヤル)
受付期間 平日9:00〜18:00(土曜、日曜、祝日はご利用できません)

「必ずチェック 最低賃金! 使用者も労働者も」

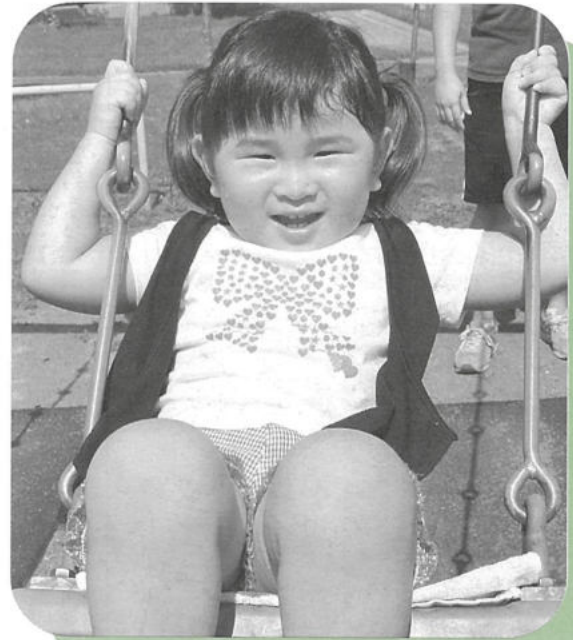
北海道最低賃金 691円
平成22年10月15日発効
厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署(支署)

環境行動目標 遠出はバス・鉄道で

近くの用事は徒歩・自転車

厚真町環境対策町民会議

みやぞえ さくら
宮副 咲良ちゃん
H 19・10・12 生
父—拓 哉さん
母—千栄美さん
(錦 町)



●—わが家のアイドルはこんな子です。—●
「全然人見知りしないんです。お店でお客さんが待ってる時も、ずっと話していますね。マグロが大好きで、解凍している間も横で待っているほど。晩ご飯はおじいちゃんと同じくらい食べますよ」



みやもと ひろい
宮本 陽彩衣ちゃん
H 19・9・2 生
父—慎太郎さん
母—紗綾乃さん
(本 郷)



●—わが家のアイドルはこんな子です。—●
「歌が大好きで、ジブリ映画の曲をよく口ずさんでいますね。歌手の西野カナの『ベストフレンド』も大好き！弟が生まれてからは、泣いていたりしたらお姉ちゃんとして面倒をみてくれますよ」

■今月の表紙

厚真町制施行 50 周年記念式典のひとつコマ。これからの未来を担う厚真高校の森田知和くんと山田美沙紀さんが、町民憲章を力強く朗唱。大役を務め終えた 2 人は、肩の荷が下りたようで、安堵の表情を浮かべていました。

■今月の内容

あつま宝物コレクション	みんなの広場
平成 22 年第 3 回定例議会	まなびや
平成 22 年度厚真町表彰	健康情報・ほけんの掲示板
まちの話	情報ひろば
いきいきふるさと図鑑	

2010年 10月

H 22

NO. 698

9 月末現在の人口
4,912人(前月比 +4)
男 2,392人/女 2,520人
世帯数 2,048(前月比 +0)